

2024 年度臨時理事会議事録

1 議案1 「細胞アート展継続について」

(提案者：岡本愛光 理事長)

議案2 「第63回秋期大会での細胞アート展開催のため臨時予算案について」

(提案者：岡本愛光 理事長)

(提案理由)

医療従事者向けには、日本臨床細胞学会への関心を高め、細胞診専門医や細胞検査士の重要性を広く認知させること、一般の方々には、がんなどの早期発見や治療に貢献する細胞診についての理解と認知を深めることを目的とし、当学会公益社団法人化10周年広報活動を企画した。

その一環として、細胞の写真をアート作品として展示し、参加者が自分自身の細胞を顕微鏡で観察できるワークショップを開催した。

さらに、Webサイトでは、身体の細胞をクルーズするように観察し、楽しみながら細胞について学ぶことができる「細胞アート展」を企画した。このイベントは6月9日(日)に大阪国際会議場で、森井英一春季大会長のご協力のもと開催され、累計来場者数150名以上、ワークショップ参加者数54名という大変好評を博した。さらに、第2回は8月4日(日)に東京慈恵会医科大学で開催され、事前応募者数1,511名、来場者数約200名、ワークショップ参加者数90名と、こちらも大成功を収めた。

「細胞アート展」は時事通信、共同通信、Yahoo! ニュースをはじめとする10以上のメディアに取り上げられ、SNSでも累計15万インプレッションを記録した。特に、小学校4年生から中学校1年生が参加者の2/3を占め、下は幼稚園児、上は高校2年生までが参加し、保護者の方々も35歳から70歳代まで来場した。参加者からは「高校生向けのワークショップは非常に貴重であり、医療に興味を持ち始めた子供にとっても貴重な機会だった」など好評を博し、今後もこの細胞アート展は継続して開催していただきたいとの声も寄せられた。公益社団法人化10周年広報活動として2回開催したが、今後も継続すべきか、臨時予算建てして第63回秋期大会での細胞アート展開催をするかのご審議をお願いしたい。

2024年8月23日、理事長 岡本愛光が理事40名中40名に対し、上記理事会の決議事項について提案を發し、2024年9月2日に第1号議案・第2号議案に対し全理事から書面より同意の意思表示を得るとともに、監事からの異議もなかったため、当該事項の理事会での決議があったものとみなされた。

2 第1号議案を提案した理事

日本臨床細胞学会理事長 岡本愛光

第2号議案を提案した理事

日本臨床細胞学会理事長 岡本愛光

3 議決権を行使することのできる理事の総数 40名

議決権を行使することのできる理事の議決権の個数 40個

4 理事会の決議があったものとみなされた日

2024年9月2日

上記のとおり、本法人定款第34条第2項より、理事会の決議があったものとみなされたので、これを証しするためにこの議事録を作成する。

2024年9月3日

公益社団法人日本臨床細胞学会

議事録作成者 森井 英一

